

平成二〇年度入学試験問題

小論文

琉球大学大学院法務研究科（法科大学院）

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は、必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配布するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、八〇〇字以上、一二〇〇字以内で解答すること。
- 五、解答時間は、九〇分である。

平成 20 年度琉球大学大学院法務研究科選抜試験問題（小論文）の問題と講評

【問題】

下記の文章を読んで、ホームレスによる空き缶回収を排斥しようとする行政の措置について、あなたの意見を述べなさい。ただし、予想される反対意見をふまえてこれを批判しつつ論じること。

「ホームレスの収入源が断たれる——。資源ごみとして出されている空き缶を、行政が取り締まっているためだ。空き缶を集めて生計を立てているホームレスにとって死活問題。『こんなリサイクルの方法があってもいい』とリサイクル業者や回収業者は寛容だが、自治体はそうは考えていない。条例を施行するなど防止策を強化するところは増えている。

ホームレスの半分は空き缶で生計を立てているといわれる。排斥しようとする行政を尻目に『食べるため』必死になって、空き缶を集める。行政が回収する前に空き缶を集め、リサイクル業者に売る。罪悪感はないという。

X市内でダンボール生活を続けるAさんの収入源は空き缶と本。『生きるために必死なんだ。行政が締め付けても缶を集めなければ食べていけない』と心境は複雑だ。『空き缶収入が断たれたらどうなるのか、分かっている』。1日の収入は2000～3000円。缶を集めるホームレスのほとんどがこのくらいの収入だという。

現在、1キロ（空き缶約60個）の相場は80～90円。100円稼ぐのに60個の空き缶を集めなければならない。1000円なら600個、3000円なら1800個だ。

公園や道端で集めるより資源ごみ集積所で集めた方が効率的だ。とくに団地から出される空き缶の量は多く、ホームレスにとって『旨味のある』場所。

X市内のマンモス団地から出された空き缶は、回収業者とホームレスが二人三脚で回収しても、回収し切れなかったほど量があったという。しかし今は市が週1回、全ての空き缶を回収しており、ホームレスの活躍の場(?)は少なくなっている。

空き缶集めができなくなったことで、他の地域へ移動するホームレスも増えているといわれる。

自治体が空き缶の持ち去りを禁止するもうひとつの理由は、“アパッチ”といわれる悪質な回収業を締め出すためだ。袋の中からアルミ缶を抜いていくホームレスと違い、容器（空き缶入れのカゴ）ごとひっくり返して軽トラックで持ち去って行く悪質さだ。

取り締まりを強化するよう、市に訴える住民もいるが、夜中に音を立てて持ち去るホームレスにも苦情が殺到している。持ち去りを注意した女性を威嚇したホームレスもあり、対策の必要性が叫ばれてきた。」

(湘南新聞2004年3月6日付け記事より作成)

【答案の講評】

「ホームレスによる空き缶回収を排斥しようとする行政の措置について意見を述べよ」というのが本問の課題である。これは、そのような行政措置を妥当と思うかどうか、そしてその理由は何かを聞いているのであり、したがって、ホームレスをいかにして救済すべきかとかホームレスを減らすにはどうしたらよいかを力説しても出題者の要求に答えていないことになる。この点、「私は行政の措置に賛成（反対）である」と筆を起こしたところまではよいが、次第に内容が「ホームレス対策論」になってゆく答案が多かったことは残念である。

問題となっている行政の措置に関しては、行政当局、ホームレスの人たち、リサイクル業者、住民等にそれぞれもっともな言い分があるであろうから、答案を書き出す前に、まずそれぞれの立場にとって措置がもたらすメリットやデメリットを正確に把握しなければならない。そして、どの立場を支持するにしても一方的・一面的な議論に陥ることなく、他の立場への理解と配慮が伺われるようなバランスのよい答案を作成するように心掛けるべきである。

このように言うことは、もちろん玉虫色の答案を期待することではない。行政措置への賛否が問われている以上、自分の態度を明確に、そして説得的に示さなければならないのは当然である。だが、採点してみると、書き手のメッセージが生き生きと伝わってくるものが少なかったように感じられた。理由のひとつとして挙げられるのは、「問題文によれば～である。たしかに～。だが～」式の画一的な小論文対策パターンで臨んだ答案が多かったことである。その結果、判で押したような答案になってしまい、新鮮味が失われた。さらに、そこで語られている内容も抽象的な一般論やマスコミで見聞きしたと思われる識者コメント的なものが多く、それらがよく吟味されないまま並べられた結果、表層的な感想文に陥り、主張に迫力を欠いてしまった。やはり自らの頭を絞って考えを巡らせたことが読む者にも伝わるような答案を目指して欲しい。この点で、なぜホームレスが発生するのかとか、ワーキングプアと呼ばれる現代社会の世相にまでさりげなく斬り込んで、そのような洞察の上で行政措置の是非をバランスよく論じていた答案は評価が高かった。形ばかりの小論文対策よりも読書に時間を費やし、思索の訓練をしておく必要があるだろう。